

any

ars nova yamaguchi

「エニー」

autumn 2016
Oct. - Dec.

98

特集 人形劇団クラルテ

「火の鳥—黎明編—」



火の鳥



人間は
何のために
生まれたのか。

特集

03 人間は何のために
生まれたのか。

人形劇団クラルテ「火の鳥—黎明編—」

ピックアップイベント

08 瑞々しさと若さが薫る
ピアノ・コンサート

山口情報芸術センター

YCAM バイオ・リサーチ・プロジェクト オープンデイ
バイオテクノロジーの可能性を探る

相対性理論 presents 『天声ジングル—∞面体』ライブ
相対性理論とYCAMのコラボによる特別企画

中原中也記念館

企画展II 中也、この一篇——「サーカス」

代表作「サーカス」をひもとく

「ぼうしの詩人賞」表彰式&

「中也忌～墓前祭と中也に捧げる夕べ」

中也を偲び、捧げる詩と音楽

山口市民会館

スターダスト・レビュー

35th Anniversary Tour「スタ☆レビ」

スタレビ、35年の活動の軌跡

山口きずな音楽祭 vol.8

LE VELVETSの歌とともに迎えるクリスマス

12 any 通信

◎アーティストボイス LE VELVETS (ヴォーカル・グループ)

◎お先に試写しました 「ラサへの歩き方～祈りの2400km」(チャン・ヤン監督)

◎いらっしやいませ ガーナキッチン パオパブ

◎GOOD GOODS 中原中也記念館オリジナル タオルハンカチ

◎My Favorite 山根弘子(山口市民会館 職員)

14 イベントカレンダー 10～12月

INFORMATION

特集
人形劇団クラルテ
「火の鳥—黎明編—」

人間は 何のために 生まれたのか。

手塚治虫原作の壮大な物語「火の鳥」が人形劇に。大阪を拠点に活躍する人形劇団クラルテの創立60周年の記念公演として作られた「火の鳥—黎明編—」は100体以上の人形が登場し、さらには地元の子どもたちで構成された合唱団との共演もある。そんなスケールの大きな人形劇が、今年12月、山口市民会館で上演されます。any編集部は公演に先駆け、大阪にある人形劇団クラルテの稽古場にお邪魔しました。迎え入れてくれたのは劇団員であり、本作品の脚色と演出を手掛けられた東口次登さん。聞けば、東口さんは大学時代を山口で過ごされたとのこと。山口との縁を感じつつ劇団の歴史や、本作の創作秘話などをお聞きました。

火の鳥

黎明編

れいめいへん



◎あらすじ

時は古代。女王ヒミコがヤマタイコクと対立するクマソ。部族間抗争は烈しく、戦場は血の海に。度々の危機をくり抜けて数奇な運命をたどる姉弟ヒナクとナギ、防人の猿田彦。そして手柄欲しさに「火の鳥」を狙う欲望の男たち。酷く美しいヤマトの自然を背景に「永遠の生命」へのそれぞれの戦いを描く。

もともとは、 高校生の退屈から 始まった劇団。

まず、人形劇団クラルテはどのようにして設立されたのか、その歴史を教えてください。

創立メンバーから聞くと、もともとは高校生の退屈から始まったそうです。1948年、戦後3年目くらいに創立していますので、日本はまだ退廃していて学校もあるような状況下。高校生たち(のちに劇団を立ち上げるメンバーたち)は授業もないし、何もすることがなくてぼーとしていたら、担任だった美術の先生から「そんな暇なんやったら、いま子どもたちももっと退屈しているから、人形劇でも作って子どもたちの前でやってみたら?」と言われたのがきっかけだそうです。紙があまりない時代だったから、新聞紙をмонで、くたくたにして、のりもないから小麦粉とか混ぜてくっやくちやな紙粘土で人形を作って、ものは試しで一回やってみたら、子どもたちにめちゃくちゃ受けた。新聞紙で作った人形が、ちょっとした動きで生き

ているように見える、それが子どもたちにとってはおもしろかったんでしょうね。そういう生の舞台のおもしろさを子どもたちはそこで初めて体験する。当時周りにはテレビもなければなにもない。そのなかで、人形で一生懸命何かしようという若者の思いが伝わったんだと思います。

劇団名の「クラルテ」はどういう意味なのでしょう?

クラルテはフランス語で「光」や「光明」という意味です。第一次世界大戦が終わって間もないころのフランスで、アンリ・バルビュスという人が「クラルテ運動」というのを提唱します。フランスも戦争によって退廃し、文化もなくなってしまった。そんななか子どもたちに何か文化を届けたい、世の中を明るくしたいという思いからこの運動は始まります。劇団を創立したメンバーも世の中に光を当てたいという思いがあり、そこから「クラルテ」という名前にしたのではないかと思います。なかなかしゃれた名前ですよ。でも、ちょっと言いにくいんです。間違えて「ヤクルト」と言う人もいます(笑)。

コンセプトは日本一大きな 人形劇を作ること。

60周年の記念作品として「火の鳥」を人形劇化しようと思われたのはなぜでしょうか?

創立25周年頃から、5周年ごとに記念公演を作ること、しかも、5年に一度の作品は劇団員全員で関わる作品にしよう決めて始まりました。劇団員は40名くらいいますが、普段はみんなバラバラで動いていて全員が関わる公演というのはなかなかないので、そのエネルギーを結集して次の5年を迎えようということで、作り始めました。作品はみんなで持ち寄った題材のなかから決めるシステムで、50周年のときには「セロ弾きのゴーシュ」を、次の55周年は「三文オペラ」を上演。じゃあ60周年のとき何をしようかという話になったときに、たまたま手塚治虫さんの生誕80周年の年と重なるというころもあり「火の鳥」に決めました。これは後付けですが、「火の鳥」というのは、生まれて死んで、また生まれ変わるじゃないですか。誕生して60年、人間でいえば還暦の年を

注目!!



「やまぐち 火の鳥合唱団」

公募で集まった男女20名の小学生～高校生で構成される「やまぐち火の鳥合唱団」が、7月から週1回集まり合唱練習をしています。子どもたちが12月の公演本番、どんなコーラスを披露してくれるのか、注目しよう!!

迎え、クラルテも1回不死鳥のごとく生まれ変わろうと。なんだかゴロが良すぎますが(笑)。コンセプトは日本一大きな人形劇を作ること。なので、たくさん人形を作りました。馬など動物の人形もあわせて100体以上。それを役者17人で回しています。主役以外はシーンによって役が変わり、ステージに出ないときは場面転換もやるので、裏で駆け回って、みんなハアハア言いながらやっていますよ。

原作である手塚治虫さんの漫画「火の鳥」の魅力とは?

実はどこに魅力を感じて、どう作品に仕上げていくのか、それをつかむまでが大変でした。「火の鳥」は戦いの歴史を描いた作品じゃないですか。現実の世界でも、どこかでいまも戦争をしているし、テロもある。そういった人間の歴史を凝縮したのがこの本だと思えます。不死鳥の生き血を吸ったら永遠の命がもらえるというファンタジックな要素もあるけど、それを求めて人間が戦い殺し合うという残酷な面も描かれている。だから実際にこの作品を人形劇にするときには、正直あかんかなとも思ったんです。子どももお母さんたちもみんな嫌厭してしまうんじゃないかと。でも手塚さんはそれだけを描きたかったのではないはず。戦いの歴史の中でも、主人公ナギは自分に与えられた人生を一生懸命生きている。必死になって乗り越えていく。乗り越えながら死んでいき、また次の世代が乗り越えていく。そこを手塚さんは描きたかったんじゃないか。生きるために

は戦いをやめ、本当の幸せを得るために生きて欲しいという思いがあるからこそ、あえて残酷な人間の本質を描き、そんな世界でも主人公が自分の意思をしっかりと生きていく、その姿を描きたかったんじゃないかと。そう思わないとこのお話し脚本は書けなかった。

合唱団のコーラスが、 主人公への応援歌にも なっています。

本作では、山口在住の子どもたちによる合唱団と人形たちとの共演があると聞きました。

記念公演のときは関わる仲間をどんどん周りに増やしていこうという思いもあったので、「セロ弾きのゴーシュ」のときは生の交響楽団を、「三文オペラ」のときは生のブラスバンドを使ったので、じゃあ次に何を取り込もうかという話になったとき合唱団にしました。生の歌を少年少女合唱団にお願いできないかということで、初演時に近所の合唱団を数カ所視察に行き、そのうちの1団体に一緒に参加してもらいました。決してうまくはないけど、味があるんですよね。それで、全国を縦断公演するときは各都市でそれぞれ合唱団を集めてもらって一緒に共演しようということになったんです。このステージのために集まった他人同士がだんだんパート練習してあわせていくうちに仲間になって一つになっていく。それもすごいことですよ。

世の中に光を当てたい
という思いから
「クラルテ」という名前に。

東口次登 HIGASHIGUCHI Tsuguto
1957年、宮崎県生まれ。1980年、人形劇団クラルテに入団。演技部に所属し俳優として活躍する。その後、1988年に「気のいい八兵衛さんと不思議な竹筒」を初脚色、1990年「どうして、ぞうさんのはなはながいの」初演出。以来多くの脚本・演出を手がける。21世紀の人形劇団クラルテを創造的に引っ張る役割を担っている。現在、人形劇団クラルテ常任委員、日本演出家協会会員、日本児童・青少年演劇協会会員。



photo:木村耕平



◎太宰と中絶は、そんなに接点がないと思っていましたがお互い意識し合う存在だったのだなと思いました。(40代女性「太宰治と中原中也」より)
◎とても楽しく、子どもの想像力やプレゼンテーション能力を育てる素晴らしい企画と思いました。(40代女性「スポーツハッカソン for kids」より)
◎ランボー以外にも広範囲の著作を愛しており、ドストエフスキなども読んで分かった。(50代男性「中絶の本棚-外国文学篇」より)
◎猛暑の山口市にスペインの風がさわやかに吹き抜けたという感じです。すごく良かったです。(50代男性「スペイン国立管弦楽団」より)



【クラルテ運動】 第一次世界大戦直後、フランスの作家アンリ・バルビュスが発表した小説「クラルテ」がきっかけとなって始められた国際的反戦平和運動。週刊誌「クラルテ」を拠点とし、各国の文学者・科学者が参加。

テーマ曲の歌詞「この世界はどうして生まれたの？人間はなんのために生まれたの？」という言葉が胸に響きます。この歌詞は東口さんが書かれたのですか？ええ僕が書きました。僕が芝居を書くときは、歌詞＝テーマになるんです。この作品ではどういう歌詞にしようかすごく悩みましたが、主人公のナギがどうやって生きるのか、それがテーマだと思ったので、それを直接歌詞にいれてしまおうと。このお話の登場人物は、ナギ以外はみんな大人です。大人はみんな悪いことばかりしてナギを応援してくれる人は誰もいません。唯一舞台上でナギを応援してくれるのが合唱団なのです。彼・彼女らのコーラスが、主人公ナギへの応援歌にもなっています。合唱団の生の声があった方が役者たちの芝居もすごく締まる。ここが録音だったらダメだったと思います。音程が狂っていてもいい、一生懸命なのが伝わるだけで十分なんです。

人形劇と生身の人間が演じるお芝居との違いはどこにあるでしょう？僕は人間のお芝居の脚本も書くことがあります。そのお芝居を観に行くと、知り合いが役者として舞台に出ることがありますが、正直観たくないですね。役以上にその人のことを知っているから、その人の私生活の面が見えてしまうんです。人間と人形の違いは、私生活があるのが人間の俳優で、人形にはそれが無い。たとえば今回の作品「火の鳥」の主人公ナギはこの芝居のナギしか演じない。人間の場合だと、その人の人生のなかの2時間だけその役になりますが、人形のナギは公演中の2時間しか人生がない。それ以外は無なんです。だからお客さんは純粋に人形をナギだと思って、全部想像して世界をイメージする。純粋にその役として見ることができる。子どもたちが人形劇を好きなのは自分たちなりに想像して柔軟に見るからだと思います。同じ表情の人形の顔がちょっとした動きで色んな表情に見えるからです。それは観る側の想像力なんです。その世界に入り込むものすごくおもしろくなっていくのが人形劇です。それ

は大人でも一緒。観る側の想像力が試されるともいえます。僕にとっては人形劇の方が、人間が演じるお芝居よりもリアリティーを感じます。

**主人公ナギは
生きる意志をもって、
様々な壁にぶつかっては、
飛び越えて生きていく。その姿
を子どもたちには観て欲しい。**

**作品を観る子どもたちにどんなことが
わって欲しいですか？**

実はこの作品のラストは原作と違うんです。原作の「火の鳥」では最後主人公のナギは死んでしまい、次にタケルという主人公へと引き継がれて終わります。ですが、僕の台本ではナギは死なずに終わる。ナギは生きる意志をもって、様々な壁にぶつかっては、飛び越えて生きていく。その姿を子どもたちには観て欲しい。そういう思いもあってラストを変えました。ナギは周りの大人から「お前が生きることが大切なんだ」と誰からも言われない。一



Photo: 木村耕平

人でもがいてもがいて必死に生きています。生きるエネルギーというのは仇討ちとかかたき討ちとかいっぱいあるかもしれないけど、それでも敵だった猿田彦も仲間になり、喜びを見つけていく。子どもたちはこれから色々なことに出会うだろうけど、希望をもって一生懸命生きて欲しいと思っています。そうすれば何か喜びに出会えるはずですよ。

実際に本作を観た子どもたちの反応はどうでしたか？

人形劇「火の鳥」は2時間以上の作品ですが、観る子は4歳の子どもでも理屈抜きに観れちゃう。最初大阪でこの作品

を作ったときは、小学校高学年向けでしたが、評判がよかったので、全国を回るようになり、九州で上演したときに、おじいちゃんと4歳のお孫さんが観に来てくれました。おじいちゃんは話を知っていたのでどうせ最後まで観ずに、すぐ帰ることになるだろうと思っていたら、隣にいた4歳の子が2時間じっと集中して観ていて、それに驚いたという感想をくれたんです。これは僕の考えですが、子どもたちは怖くても目を開けておかないといけません。目をつむってしまうとナギが死んじゃうんじゃないか、そういう思いがあって緊張してじっと観てしまうのかもしれない。あとは火の鳥がナギを救ってくれたり、敵対していた猿田彦と仲間になったり、登場人物の関係が徐々に密になっていくのが感じられるからでしょう。それともう一つは、少年少女の合唱団によるコーラスがあるのがやはり大きいのだと思います。初演から数えて、今回の山口公演が34カ所目ですが、山口の合唱団が12月に歌ってくれるテーマ曲が、たくさんの人々の心に響く平和の歌として全国に広がればいいなと思っています。



**人形劇団クラルテ
「火の鳥—黎明編—」**

2016年12月18日(日)
15:00開演(30分前開場)
会場:山口市市民会館 大ホール

[チケット情報] any会員先行予約 10月1日(土)～
一般発売 10月8日(土)～
[料金] 全席指定 ※4歳以上有料
前売 一般 3,000円
any会員 2,500円(1会員4枚まで)
当日 3,500円
[原作] 手塚治虫
[脚色・演出] 東口次登

子どもたちが
人形劇を好きなのは
自分たちなりに想像して
柔軟に見るから。



PRESENT

人形劇「火の鳥—黎明編—」の公演で招待券並びに原作本の漫画「火の鳥—黎明編—」をプレゼントします。

【申込方法】ご希望の方は下記のプレゼント番号を明記の上、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、今号の「any」の感想をご記入の上、10月31日(月)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailでご応募ください。

A 人形劇団クラルテ
「火の鳥—黎明編—」公演
ご招待券 (ペア5組)

B 手塚治虫原作
漫画「火の鳥1黎明編」
【角川文庫】(1名)



【あて先】〒753-0075 山口市中園町7-7
(公財)山口市文化振興財団
「any vol.98 特集プレゼント」係
FAX:083-901-2216 e-mail:any@ycfcp.or.jp
※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

瑞々しさと若さが薫る FRESH ARTIST PREMIUM CONCERT ピアノ・コンサート

山口市民会館では、秋から冬にかけて、旬な若手ピアニスト2人を紹介するピアノリサイタル・シリーズを行います。

11月は、国際的に活躍し、着実に進化をとげてきた松田華音、

12月は、世界をまたにかけて活躍をはじめた若き天才ピアニスト、牛田智大が登場。

その瑞々しさあふれる演奏と、今後も大きく開花し続ける若き2人の才能にご注目ください。

PART 1
松田華音
MATSUDA KANON

2016年11月26日(土)
18:30開演(17:30開場)
会場:山口市民会館大ホール

PROFILE
香川県生まれ。名門校モスクワ国立グネーシン記念中等(高等)音楽専門学校で外国人初の最優秀生徒賞を受賞し、首席で卒業。8歳のときにオーケストラとの初共演。以来、ミハイル・プレトニョフ、マルク・ゴレンシュタイン、高岡健などの指揮者、ロシア・ナショナル管弦楽団、ロシア国立交響楽団、キエフ国立フィルハーモニー交響楽団などと共演。



©Ayako_Yamamoto

MESSAGE

みなさま、こんにちは。松田華音です。この度は、山口で演奏させていただけることを、とても嬉しく楽しみに思っています。ショパンの晩年の傑作であるピアノソナタ第3番、ポロネーズ第7番「幻想」、そしてロシアの作曲家ムソルグスキーの「展覧会の絵」という、私の大好きな曲を、心を込めて演奏させていただきます。みなさまにお会いできることを楽しみにしています。

Mauzyga Kanon

PART 2
牛田智大
USHIDA TOMOHARU

2016年12月23日(金・祝)
14:00開演(13:00開場)
会場:山口市民会館大ホール

PROFILE
福島県生まれ。3歳よりピアノを始める。上海でその才能を認められ、8歳の時から5年連続でショパン国際ピアノコンクール in ASIA で1位を受賞。浜松国際ピアノアカデミー・コンクールにて最年少1位、日本人ピアニストとして最年少でCDデビュー。現在、モスクワ音楽院ジュニア・カレッジに在籍。



©Ayako_Yamamoto

MESSAGE

今回お届けするのは、僕が3歳の時にユンディ・リリの演奏を聴いて以来ずっと弾きたいと願っていたリストの短調ソナタを中心とした、ピアノの魅力をお楽しみ頂けるプログラムです。是非聴きにいらしてください。

Tomoharu

フレッシュアーティスト・プレミアムコンサート

[チケット情報] 発売中 [料金] 全席指定 セット料金 一般 4,000円 any会員 3,500円(1会員4枚まで) 学生 2,000円

※2公演分まとめてのチケット料金となります。ただし、セット料金は11/26までの販売。11/27からは1公演で同価格となります。

PICK UP EVENT! AUTUMN 2016
ピックアップイベント

山口情報芸術センター(YCAM)

http://www.ycam.jp/

YCAMバイオ・リサーチ・プロジェクト オープンデー

2016年10月8日(土)、11月12日(土)、12月10日(土) 各日13:00~17:00
会場:コミュニティスペース

バイオテクノロジーの可能性を探る

山口情報芸術センターでは、近年飛躍的に発達するバイオテクノロジーの応用可能性をアートや教育、地域といった多様な切り口で研究開発するプロジェクト「YCAMバイオ・リサーチ」を2015年から実施しています。バイオテクノロジーを扱うためのスペース(ラボ)も開設。今後は国内外の研究機関やファブラボなどと連携しながら、応用の可能性を探ります。また、活動のプロセスを展示やミニワークショップで紹介するイベント「オープンデー」を今年は年間6回開催。すでに6月と7月に開催したオープンデーには100人以上の方が参加され、好評を博しました。秋以降は、「森のDNA」(10/8)、「ヒトと共生微生物」(11/12)、「生物とプログラミング」(12/10)をテーマにバイオの世界をご紹介します。

料金 | 無料

相対性理論 presents 『天声ジングル—∞面体』ライブ

2016年12月17日(土) 19:00開演
(18:00開場)
会場:スタジオA

相対性理論とYCAMの コラボによる特別企画

音楽シーンのみならず、テキスト、ドローイング、美術作品など多彩な才能を發揮し活躍するやくしまるえつこ率いる音楽ユニット「相対性理論」。その独自性の高い世界観と音楽は、音楽ファンだけでなく、多くのクリエイターたちからの熱い視線と注目を集めてきました。最新フルアルバム「天声ジングル」を携え、今夏行った武道館ライブはチケット完売。つねに新しい試みに挑み続ける相対性理論が、この冬、満を持してYCAMに登場します。十全な音環境を備え、また様々なメディアテクノロジーに関する知見を有するYCAMだからこそ実現可能な、ここでしか体験することのできない特別なライブパフォーマンスを展開。どのような

チケット情報 | 一般発売 10月29日(土)
料金 | オールスタンディング 前売 一般 5,000円 any会員・特別割引・25歳以下 4,500円
当日 5,500円

■特に記載のない場合、any会員割引は1会員2枚まで。
■特別割引:シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象。
■いずれの公演も当日券は会員割引の対象外となります。
■いずれの公演も特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。



7/9に開催した「オープンデー:発酵とDIY」の様子

わたしはココに注目する!
過去2回のオープンデーでは、酵母や発酵について紹介。10月~12月はDNAや生物について掘り下げます。身近にありながら、知らなかったことがたくさん発見できる奥深いバイオの世界、どうぞこの機会に体験ください。

mini PICK UP!

YCAM Film Factory vol.2
[空族+スタジオ石+YCAM]
新作インスタレーション展
「バンコクナイツ」
開催中~2016年11月6日(日)
10:00~19:00
会場:山口情報芸術センター
スタジオB



映画「バンコクナイツ」より

YCAMでは、映画制作プロジェクトの第2弾として、インディペンデント映画集団・空族によってタイ、ラオスにて製作された映画「バンコクナイツ」の主人公が辿った旅路を、映画とは別の角度で編み直した映像作品を制作。4+1面のマルチスクリーンによる映像インスタレーション作品として現在公開中です。映画本編とは違った視点からみたタイ・ラオスの姿が浮かび上がります。

[料金] 無料

mini PICK UP!

マシュマロ・レーザー・フィースト
もしも、
森のいきものになったら
2016年10月6日(木)、7日(金)、
9日(日)、10日(月・祝)



参考写真:森の中で作品を体験している様子

イギリスのクリエイティブ・スタジオ「マシュマロ・レーザー・フィースト」が制作したトンボ、ユスリカ、フクロウ、カエルなど、森のいきものたちの世界をのぞきみることができるバーチャル・リアリティ体験作品を日本初公開。実際に山口の森に掛けて体験できる野外ツアーもあれば、YCAM内で気軽に体験できる展示も公開予定! インスタレーション作品と音楽作品が同時に味わえる贅沢な企画が実現します。「相対性理論」の唯一無二の世界感をここYCAMで堪能ください。

※野外ツアーは有料かつ要申込。詳しくはお問合せください。

中原中也記念館

http://www.chuyakan.jp/

企画展Ⅱ

中也、この一篇——「サーカス」

開催中～2017年4月16日(日)

代表作「サーカス」をひもとく

中也の代表作をじっくりと味わう企画展シリーズがスタート。第1回目は〈ゆあーん ゆーん ゆやゆん〉のフレーズが印象に残る中也初期の代表作「サーカス」を取り上げます。

1929年、雑誌「生活者」に無題の詩として発表されたこの作品は、のちに1934年刊行の第一詩集『山羊の歌』に「サーカス」のタイトルで収録されました。中也が初めてこの詩を書いた時期は特定できませんが、1925～26年(18～19歳)頃と考えられています。本展では、作品の解釈や成立過程のほか、中也が生きた明治末期から昭和初期の日本におけるサーカスの歴史などを交え、様々な角度から作品を読み解きます。



中原中也詩集「山羊の歌」

わたしはココに注目する!
中也は、幼い日を過ごした金沢で「サーカス」を見たことを、エッセイで回想しています。中也少年の心に刻まれたサーカスの風景とは? 時代背景を知ること、詩の違った一面を発見してください。

入館料 一般 320円(270円) / 大学生 210円(162円)
※あわせてテーマ展示もご覧いただけます。 ※18歳以下、70歳以上は無料 ※()内は20人以上団体料金

「ぼうしの詩人賞」表彰式& 「中也忌～墓前祭と中也に捧げる夕べ」

2016年10月22日(土)

中也を偲び、捧げる詩と音楽



昨年の中也忌(キャンドルナイト)の様子

10月22日は中原中也の命日。今年79回目を迎えるこの日、中原中也記念館では、「中也忌～墓前祭と中也に捧げる夕べ」、そして今年新たに創設された山口市在住の小・中学生を対象とした詩のコンクール「ぼうしの詩人賞」の表彰式および受賞作品朗読会を行います。「中也忌」では、恒例となった中也のお墓参りと、夜は記念館で前庭に灯されたキャンドルのゆらめきをバックにコンサートを開催。また22日、23日の両

日は、山口県立大学の学生が参画する文学イベント「メイン交換会」もあり、参加費は全て無料。ご参加をお待ちしております。

10月22日(土)
14:00～ 墓前祭
17:00～ 「ぼうしの詩人賞」表彰式、受賞作品朗読会
18:00～ キャンドル点灯
18:10～ コンサート(ヴァイオリン・八木資義)
会場:中原中也記念館(当日は無料入館日)、塚塚墓地
※時間・会場は変更になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

わたしはココに注目する!
「ぼうしの詩人賞」の表彰式終了後は、受賞詩の朗読会が行われます。子どもたちの新鮮で豊かな感性に触れることができるよい機会です。普段詩に触れることがあまりないという方もお気軽にご来聴ください。

料金 無料

検定 中也



東京外国語学校時代の中也(前列左端)

これであなたも中也通?!
中也の詩に強い影響を与えたとされるフランス文学。中也は東京外国語学校やアテネ・フランセなどに通ったほか、亡くなるまで通信教育などでフランス語を習い、フランス文学の翻訳に取り組んでいました。中でも、詩人・アルチュール・ランボー(中也は「ランボー」ではなく「ランボオ」としていた)の作品を愛好し、翻訳詩集を出版しています。さて、中也が生涯に出版した、ランボーの翻訳詩集は全部で何冊でしょうか?

- 1冊
- 3冊
- 5冊

答えは14ページ

中也を味わう

中原中也記念館の前庭で行っている屋外展示。今年度は「酒の詩」をテーマに展示しています。11月からは後期がスタート。「雪の宵」「カフェにて」など全3篇を、詩の内容に合わせた素敵なデザインを背景に、解説付きで読むことができます。

お酒を飲むのが好きだったという中也。はたして詩ではどのような表現をしているのでしょうか。中原中也記念館の前庭は入場自由で、閉館後も夜10時まで開放しています。湯田温泉の飲食店でお酒を楽しめる際は、ぜひ中也のお酒の詩も味わってみてはいかがでしょうか?



屋外展示(前期)の様子

山口市民会館

http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/

スターダスト・レビュー 35th Anniversary Tour 「スタ☆レビ」

2016年11月6日(日) 17:00開演

会場:大ホール

スタレビ、35年の活動の軌跡

1981年にデビューし、今年で35年の活動の実績を誇る「スターダスト・レビュー」。いまだ衰えることのないパワフルなライブパフォーマンスと、胸に迫る圧巻の歌と音楽で私たちを感動させてくれます。そんな彼らが、デビュー35周年を記念するライブツアーを全国各地で行い、山口に2年ぶりにやってきます。観客を魅了する歌の数々、完成度の高いステージパフォーマンスは必聴! また彼らが繰り出すトークの楽しさもスタレビ・ライブの醍醐味の一つ。今回のライブでも笑いあふれるトークは健在です! 今年はどんなステージを見せてくれるのか、情熱とパワーみなぎるスタレビのライブをたっぷりとお楽しみください。

チケット情報 発売中
料金 全席指定 前売 一般 6,700円 any会員 6,400円
※ジュニア割引(25歳以下)、シニア割引(65歳以上)あり。当日年齢確認できるもの持参で1,000円キャッシュバック。また障がい者(児)介助者割引あり。詳細はお問い合わせください。

山口きずな音楽祭 vol.8

2016年12月25日(日) 16:00開演

会場:大ホール

LE VELVETSの歌とともに迎えるクリスマス

山口のクリスマスの歴史を、音楽を通じて次世代に伝えようと始まった「山口きずな音楽祭」は今年で8回目を迎えます。一昨年、昨年に引き続き出演するのは、メンバー5人全員が音楽大学を卒業し、テノール3人、バリトン2人で構成されたヴォーカル・グループ「LE VELVETS」。クラシックはもちろん、ロックやポップス、ジャズ、日本の民謡に至るまで、様々なジャンルの歌を自在に表現、独自の世界を作り上げています。いまや「きずな音楽祭」に欠かすことのできない大きな存在となったLE VELVETSの、その柔らかく優しく包み込むような歌声に今年も癒されることでしょう。

チケット情報 発売中
料金 全席指定 前売 一般 S席 5,000円/A席 4,000円 any会員は各500円引き(1会員4枚まで)
当日 一般 S席 5,500円/A席 4,500円

[出演] LE VELVETS / クリスマス市民クワイア

■特に記載のない場合、any会員割引は1会員2枚まで。
■いずれの公演も当日券は会員割引の対象外となります。 ■特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。
■特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。



わたしはココに注目する!
ボーカルの根本要さんによるMCの楽しさは有名。でも、彼の持ち味はおしゃべりだけではない! ボーカリストとしての面にもしっかりとご注目を。バラードからハイテンポまで様々な歌を歌いこなす伸びやかかつハイトーンの歌声をご堪能あれ。

mini PICK UP!

SPITZ JAMBOREE
TOUR 2016「醒めない」
2016年12月19日(月)
19:00開演(18:15開場)
会場:山口市民会館 大ホール



1991年のデビューから今年で25周年を迎えるSPITZ。彼らが紡ぎ出す歌詞とメロディーは25年間、ファンを魅了し続け、愛され続けてきました。そんなSPITZが前作「小さな生き物」より約3年の歳月を経て、15枚目のアルバム「醒めない」をこの夏リリース。新作を引っ提げてのアルバムツアーを敢行します。久しぶりの山口ライブ、盛り上がること必至!!

[チケット情報] 完売しました。
[料金] 全席指定
前売 一般 6,400円(1人4枚まで)
※小学生以上有料(未就学児は保護者同伴の上入場可)

先行チケット
発売情報
早チケ
any会員
先行予約
11月5日

きかんしゃトーマス ファミリーミュージカル

2017年3月11日(土)
① 12:00開演 ② 14:30開演
会場:山口市民会館 大ホール



トーマスとパーシーがテレビから飛び出してステージを駆け巡る「きかんしゃトーマス」のファミリーミュージカル。古いソドー島の地図ののっている宝の場所を探していたトーマスは、誤って見知らぬ線路に迷い込んでしまう。パーシーや見習い機関士のケンが、暗い森の中でトーマスを発見したとき、ソドー島の宝物もあきらかに…。ここでしか見ることのできないオリジナルストーリーに、映像も駆使した迫力満点の舞台です。

[チケット情報]
any会員先行予約 11月5日(土)～
一般発売 11月26日(土)～
[料金] 全席指定 ※2歳以上有料
前売 一般 2,800円
any会員 2,500円
(1会員4枚まで)

any通信

山へハイキング。
風景が変わる秋を楽しむ。



コミック・アニメ×文学の コラボレーション

7月28日から9月25日まで中原中也記念館で開催された特別企画展「太宰治と中原中也」では、キャラクターとしての太宰と中也が



コラボ展示コーナーの様子

活躍するコミック・アニメ「文豪ストレイドッグス」(原作・朝霧カフカ、作画・春河35)とのコラボレーション企画を実施しました。館内に設けられたコラボ展示コーナーでは、描き下ろしイラストの展示のほか、コミックのキャラクターとしての太宰・中也とそのモデルとなっている実際の2人との関係、コミックの中に現れた2人の文学作品を紹介。描き下ろしイラストの特製クリアファイルがプレゼントされた中原中也クイズとあわせて、多くのファンからご好評をいただきました。

期間中、5万人が遊んだ コロガルガーデン

YCAMが2012年から毎年手がけてきた、多種多様なメディア・テクノロジーを埋め込んだ遊び場「コロガル公園シリーズ」。その最新版「コロガルガーデン」が6月18日から9月4

日まで、YCAMの館内で開催され、多くの方に遊んでいただきました。毎日入場待ちの行列ができるほどの盛況ぶり、会期中5万人以上の方が訪れ好評のうちに終わりました。会場内を汗だくで走り、大きな声で笑い、ときには転んだり、ぶつかったりしながらも楽しそうに遊ぶ子どもたちの姿がいまも強く印象に残っています。



「コロガルガーデン」で遊ぶ子どもたちの様子

お先に 試写し ました



「ラサへの歩き方～祈りの2400km」

(2015年/中国/118分/カラー)
【監督】チャン・ヤン 【出演】チベット巡礼の旅をする11人の村人たち

“五体投地”をご存知でしょうか？自分の体を地面に投げ伏して祈る、仏教でもっとも丁寧な礼拝の方法です。この映画では、チベット高原の東南部のカム地方の村人たちが、チベット仏教の聖地ラサ、そしてその先のカラス山への2400kmを、五体投地で「しゃくとり虫のように進む」驚くべき巡礼の旅を描いています。彼らの寡黙な旅路によって見えてくるのは、チベット人のシンプルで丁寧な暮らしです。さりげない会話や行動の中から「他者のために祈る」というチベット仏教の考え方が伝わってきます。なぜ彼らは他者の幸福を願うのか。過酷に見える巡礼なのに、なぜ彼らは楽しげなのか。祈る。歩く。眠る。笑う。そこからシンプルな行いの中にあるよこごびが見えてきます。本作が興味深いのは、一見ドキュメンタリーのようにも見えますが、実は出演者自身がその本人役として演じているフィクションであることです。実際にチベットのその地に住む人

であるからこそ、生活の細部が映画にも描きこまれています。放牧の様子、農作業の様子、祈りの様子などなど、ここまでチベットの暮らしに迫った映画は記憶にありません。圧倒的なチベットの雄大な自然を前にすると、日々の自分の悩みがいかにかっぽけか、途方もない気分になります。普段はできない辺境への旅を映画を通じて体験して、世界への想像力も刺激されるのではないのでしょうか。それも、映画のもつ一つの力と言えるかもしれません。

杉原永純 (YCAM シネマ担当)

2016年11月3日(木・祝)～6日(日)

※詳細タイムテーブルはYCAMポータルサイトをご確認ください。

会場:山口情報芸術センター スタジオC

[料金]一般 1,300円

any会員・特別割引・25歳以下 800円



「ラサへの歩き方～祈りの2400km」作品紹介

五体投地とは両手・両膝・額(五体)を地面に投げ伏して祈る、仏教でもっとも丁寧な礼拝の方法。チベットには今も聖地巡礼を、五体投地で礼拝しながら長い時間をかけて進んでいく人々がいる。本作はチベットの小さな村の村人が、2400kmもの距離を、なんと五体投地で巡礼する旅を描いたロードムービー。

My Favorite

毎朝通勤の際、信号に停まった時、車の中から見る市民会館です。ここに勤める前から、朝、車で通るたびに、大きな看板があれば、今こんなことをやっているんだ。人がたくさん集まっていれば、今日は何があるんだろうと思いつつも通っていました。今では、朝一に見る市民会館。今日も“がんばらなや”という気持ちにさせてくれます。

山根弘子 (山口市民会館 職員)



山根弘子

ARTIST VOICE

アーティスト
ボイス

LE VELVETS (ヴォーカル・グループ)

2014年、2015年、そして今年と、3年連続で山口のクリスマス・コンサート「山口きずな音楽祭」に出演するLE VELVETS(ルヴェルヴェッツ)さん。彼らと山口とのつながりは年を経るごとに深まっています。そんなLE VELVETSのみなさんにお聞きします。山口の魅力を教えてください。

山口の魅力が日本中、 世界中に伝わっていくことが僕たちの夢です。



2年前に初めて訪れてから大好きな街、山口。素朴で味わいのある萩焼や大内人形、美味しいフグや豆子郎、そして日本中に多くのファンを持つ、中原中也を生んだ街でもあります。悠久の歴史と文化、温かい人達

に触れるたびに山口に大きな魅力を感じています。今年で3度目の出演になる「山口きずな音楽祭」は、毎回市民の皆さんとの合唱や地元の方との交流があり、特別な一体感と感動が待っています。室町時代に大内義隆とサビエルが交わした絆が、時代を越えて山口とLE VELVETSを引き合わせてくれました。僕たちがそうだったように、12月のクリスマス市や山口きずな音楽祭を通して、山口の魅力が日本中、世界中に伝わっていくことが僕たちの夢です。そしてそこに、LE VELVETSが少しでも関わらせていただけていたらこんなに幸せなことはありません。

「山口きずな音楽祭 vol.7」

2015年12月26日
会場:山口市民会館 大ホール



2014年に引き続き、2015年の「山口きずな音楽祭」に出演したヴォーカル・グループ「LE VELVETS」。クラシックはもちろんロックやポップス、ジャズ、日本の民謡に至るまで、様々なジャンルの歌を自在に表現し、またその伸びやかで柔らかい歌声で多くの聴衆を魅了。山口のクリスマスを大いに盛り上げた。また、山口市内在住の小学生から一般までの幅広い年齢層で構成された合唱団「市民クワイア」との共演も毎回話題に。今年の12月に開催される「山口きずな音楽祭 vol.8」にも出演が決まっている。

LE VELVETS (ルヴェルヴェッツ)

グループ名は、柔らかく、上品で滑らかな生地、[Velvet](ヴェルヴェット)に由来。佐賀龍彦、日野真一郎、佐藤隆紀の3人がテノールを担当、宮原浩暢、黒川拓哉の2人がバリトンのパートを担当する5人編成のヴォーカル・グループ。それぞれがソロでも活躍している。

いらしゃいませ



バオバブカレー
850円

店主サムさんの愛が いっぱい詰まったガーナの味

山口の駅通りにあるガーナ料理店、バオバブ。看板メニューのひとつ、バオバブカレーをいただきました。ピーナッツ風味のルーと聞き、甘いかな、こってりかなと思って食べてみれば、とっても優しい味。マイルドでコクがあって、しかも日本のお米とよくあう！やわらかい鶏の肉も肉も絶品。しかもこれ、山口の地鶏・長州鶏なんだとか。お米も山口産。ガーナの食文化と山口の食材がこのひと皿に溶け込んでいる!!ほかに見たことのないメニューがたくさんありどれも惹かれます。でも、一番心をつかまれたのは店主でコックのサムさんの素敵な笑顔。彼がつくる愛情たっぷりのガーナ料理と楽しいおしゃべりにすっかり虜になっちゃいました。

ガーナキッチン バオバブ

山口市駅通り1-7-10 TEL.083-921-2811
営業期間:11:00~15:00 / 17:30~22:00
店休日:水曜日および日曜日 ※P2台、2F和室あり

GOOD GOODS

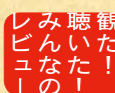


中原中也記念館オリジナル
タオルハンカチ

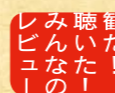
オリジナルハンカチがリニューアル

開館20周年で制作したオリジナルハンカチが、リニューアルされました。生地は前回好評だったオーガニックコットン(有機栽培綿)100%を今回も使用。使い心地と吸収力が抜群です。中也の第二詩集『在りし日の歌』と、蝶のイラスト刺繍がさりげなくあしらわれていて、中也ファンにはグッとくるポイント。しかもお手頃な価格なので、初めて中也に触れる来館者にとっても人気の高いグッズのひとつです。色は白・茶の2色からお選びいただけます。記念館を訪れたお土産に、また普段使いにいかがでしょう。

価格:各600円(税込)
サイズ:25×25cm
色:白、茶



- 自分たちで運動会の種目を決めることに、とてもやりがいを感じました。(10代女性 「スポーツハッカソン for kids」より)
- 「ボレロ」のイントロからクライマックスへと盛り上がる至福の時を本場のフル・オーケストラで楽しめるなんて最高の贅沢です。(60代男性 「スペイン国立管弦楽団」より)
- 子どもが積極的に考え、アイデアを出して修正し、新スポーツを作り上げる様を見せていただきました。(40代男性 「スポーツハッカソン for kids」より)



- 今年も楽しみにしていました。全部観たいところですが…。できる限り楽しみます！しょっぱなからヤラましたー！(30代女性 「YCAM録音映画祭2016」より)
- 日頃、活字でしか読まない作品の手書き原稿を読むと、作者の息づかいや悩みが少しだけ見えるような気がします。(40代女性 「太宰治と中原中也」より)
- 迫力ある演奏が素晴らしいです。ギターが力強く、優しい音色で良かった! 「スペイン国立管弦楽団」より)
- アニメーションもceroもすごく大満足でした。アニメーションがどのように作られているの気になりました。(30代女性 「YCAM録音映画祭2016」より)

10

October

11

November

12

December

※掲載内容は2016年9月1日現在のものです。変更場合がありますので、ご了承ください。

山口情報芸術センター (YCAM)

http://www.ycam.jp/
※年末年始のお休み12/29~1/3

■シネマ

毎週金曜の夜に【金曜夜のYCAMシネクラブ】、日曜に【YCAM名画座】を開催しています(※休映日あり)。詳細は、YCAMポータルサイトまたは「YCAMシネマプログラム」をご覧ください。

開催中

🎵 YCAM Film Factory vol.2 新作インスタレーション展「バンコクナイツ」(本誌P9参照)

🎵 YCAMバイオ・リサーチ・プロジェクト オープンデイ(本誌P9参照)

🎵 マシュマロ・レーザー・フィースト「もしも、森のいきものになったら」(本誌P9参照)10/9、10のみ会場:仁保・犬鳴の滝

開催中

🎵 360°PV体験:スクエアブッシャー「ストア・イーグラス」

🎵 YAMA KITCHEN シネマキッチン+「ハッピーアワー」上映

🎵 「ホース・マネー」「イレブン・ミニッツ」ほか

🎵 「グッバイ、サマー」「裸足の季節」

山口市民会館

http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/
※年末年始のお休み12/29~1/3

6

🎵 「ラサヘ」の歩き方〜祈りの2400km(本誌P13参照)

🎵 「永遠のヨギー」「聖なる呼吸」

🎵 「シリア・モナムール」「ソング・オブ・ラホール」

🎵 「団地」「ふきげんな過去」

🎵 「永続のヨギー」「聖なる呼吸」

🎵 「シリア・モナムール」「ソング・オブ・ラホール」

🎵 「団地」「ふきげんな過去」

17

🎵 相対性理論 presents 「天声ジングル〜∞面体」ライブ(本誌P9参照)

10

🎵 YCAMバイオ・リサーチ・プロジェクト オープンデイ(本誌P9参照)

3 4

🎵 作品未定

10 11

🎵 作品未定

17 18

🎵 作品未定

24 25

🎵 作品未定

中原中也記念館

http://www.chuyakan.jp/
※年末年始のお休み12/27~1/3

開催中

🎵 第13回テーマ展示「中也の本棚——外国文学篇」

開催中

🎵 企画展II 中也、この一篇——「サーカス」(本誌P10参照)

🎵 「ぼうしの詩人賞」表彰式&「中也忌〜墓前祭と中也に捧げる夕べ」(本誌P10参照)

🎵 中原中也を読む会

6

🎵 スターダスト・レビュー 35th Anniversary Tour 「スタ☆レビ」(本誌P11参照)

26

🎵 フレッシュアーティスト・プレミアムコンサート part.1 (本誌P8参照)

19

🎵 SPITZ JAMBOREE TOUR 2016「醒めない」(本誌P11参照)

25

🎵 中原中也を読む会

18

🎵 人形劇団クラルテ「火の鳥—黎明編—」(本誌P2~7参照)

23

🎵 フレッシュアーティスト・プレミアムコンサート part.2 (本誌P8参照)

25

🎵 山口きずな音楽祭 vol.8 (本誌P11参照)

[マーク説明] 🎵 体験する 🗨️ 参加する 🎵 聴く 🎵 観る

INFORMATION

■公演チケットのお求めについて

山口市文化振興財団が主催・共催する公演チケットは以下の方法にてご予約・ご購入ください。

予約方法

インターネット 山口市文化振興財団ホームページ (要事前登録・24時間受付)

http://www.ycfcp.or.jp/

※any会員の方は先行予約初日の10:00より、一般の方はプレイガイド発売日の10:00より受付開始。



電話

チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

TEL. 083-920-6111

窓口

チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

山口情報芸術センター

※先行予約初日はインターネットまたはお電話のみの受付となり、窓口のご利用は翌日からとなります。

支払方法

クレジットカード インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。

チケットのお受け取りは近隣のセブンイレブンまたは山口情報芸術センターにお越しください。

セブンイレブン

インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。

お近くのセブンイレブンでお支払いいただけます。チケットはその場でお受け取りください。

窓口

※上記予約方法「窓口」参照

■託児サービスについて

山口市文化振興財団では託児サービスを行っています。

※おもちゃ、おむつ、着替え等必要なものはご持参ください。お子様の食事は事前に済ませておいてください。

公演開催時

[対象] 0才(6ヶ月)以上

[料金] 1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

[時間] 開演の30分前から終演後30分まで

[申込方法] 公演日の1週間前までに左記チケットインフォメーションまたは山口情報芸術センターにてお申し込みください。

※公演によっては行わない場合もございます。事前にお問い合わせください。

山口情報芸術センター キッズスペース

[対象] 1才以上

[料金] 1人につき30分150円

[時間] 13:00~17:00 1回2時間まで(山口市立中央図書館休館日を除く)

[申込方法] 当日、山口情報芸術センターにてお申し込みください。満員の際は順番制となります。

any 会員募集!

※入会方法等、詳しくはお問い合わせください。

any会員は、山口情報芸術センターや山口市民会館などで行われる財団主催・共催の公演や展示、ワークショップ等の情報をいち早くお知らせし、楽しんでいただくための友の会です。公演のチケットが一般の方よりも安く、早く購入できるなどの特典があります。

[年会費] 1,500円+入会金500円 ※会員期間内に更新される場合、入会金は不要です。

[会員期間] 入会日から翌年の入会月末まで

[会員特典] チケットの先行予約および割引購入(公演によっては適用されないものもあります)、情報誌の無料送付、YCAMシネマ・中原中也記念館招待券プレゼントなど



公益財団法人

山口市文化振興財団

Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

〒753-0075 山口市中園町7-7(山口情報芸術センター内)
TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216
http://www.ycfcp.or.jp/ zaidan-info@ycfcp.or.jp

編集後記

今年はとくに忙しい夏でした。どこにも遊びに行けなかったのが悔しいかぎり。先日沖縄に行ったという(うらやましい!)知人がくれたマンゴアの甘さが沁みました。[M.D] このイベントが終わったら、近所の湯田温泉でゆっくりしたいと考えていた夏の終わり。いざ秋になると、やっぱり旅に出よう!と思ってしまう。計画倒れにならないように。[T.I]

A 中原中也記念館

〒753-0056 山口市湯田温泉1-11-21
TEL. 083-932-6430 / FAX. 083-932-6431
[開館時間] 9:00~18:00(入館は17:30まで) [5~10月]
9:00~17:00(入館は16:30まで) [11~4月]
[休館日] 月曜(祝日の場合は翌日)、毎月最終火曜(変更あり)、年末年始
http://www.chuyakan.jp/ chuyakan@c-able.ne.jp

B 山口情報芸術センター(YCAM)

〒753-0075 山口市中園町7-7
TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216
[開館時間] 10:00~20:00(夜間イベントのある日は22:00まで)
[休館日] 火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始
http://www.ycam.jp/ information@ycam.jp

C 山口市民会館

〒753-0074 山口市中央2-5-1
TEL. 083-923-1000 / FAX. 083-928-8488
[開館時間] 8:30~17:15 [休館日] 年末年始
http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/ shiminkk@c-able.ne.jp

検定 中 也
A. 2 3冊
(中也は『ランボオ詩集《学校時代の詩》』『ランボオ詩抄』『ランボオ詩集』の3冊を刊行しています。)



◎「文豪ストレイドックス」のコラボ企画で来館しました。中也と太宰の関係性を改めて発見でき、楽しかったです。(40代女性「太宰治と中原中也」より)
◎もっと自由な演奏スタイルかな?と思ってたが、端正で、それでいてスペインらしい熱気が伝わってきて楽しめた。(50代男性「スペイン国立管弦楽団」より)
◎これは映画という先入観で入ると違いつけない。アート作品として観るべきかな。(40代男性「YCAM爆音映画祭2016」より)
◎ギターの「アランフェス協奏曲」が素敵でとても印象に残っています。(10代女性「スペイン国立管弦楽団」より)



公益財団法人
山口市文化振興財団
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

